

2022年1月28日

羽曳野市長 山入端 創 殿
羽曳野市教育長 村田 明彦 殿

日本共産党羽曳野市会議員団

笹井 喜世子 渡辺 真千 南 玲

オミクロン株による「第6波」から命を守るための緊急申し入れ

オミクロン株によって、府内の新型コロナ新規陽性者数が8000人を上回る日が続き、過去に類を見ない急激な感染拡大となっています。市民の命を守るためには一刻の猶予も許されません。よって、下記の内容をただちに実行することを強く要望します。

記

1. 感染者などの命を守るための要望

- ①発熱外来に携わる医療機関の状態を把握して適切な診療が行えるよう支援すること。
- ②検査結果を迅速に把握するため、検査キットの確保や検査体制の拡充ができるよう支援をすること。
- ③感染者への支援や濃厚接触者の特定などの保健所の業務がひっ迫していることから、保健所の体制を強化すること。
- ④感染者が安心して療養できるような体制がとれるよう、入院のためのベッドとホテル療養のために部屋の確保に合わせて相談体制を拡充すること。
- ⑤コロナ以外の救急搬送についても時間がかかっていることが問題となっていることから、適切な対応ができる体制を整備して命を守ること。

2. 感染拡大を抑え込むための要望

- ①3回目のワクチン接種については、必要なワクチンを早急に確保し迅速に接種をすすめること。集団接種・個別接種とも予約を迅速に行えるよう情報提供を行い、予約・相談の体制を強化すること。
- ②社会的な検査については今後も継続し、検査数を増やすため、場所・検査時間の拡充と検査キットを確保すること。また、心配な時に検査できるよう希望者には抗原検査キットを無料で配布できるようにすること。
- ③学校、児童施設、高齢者施設の職員・利用者などには定期的に検査すること。

3. 子どもとその家族の暮らしと命を守るための要望

- ①学校・幼稚園・保育所などでの感染が拡大していることから、家庭でも検査できるよう抗原検査キットを無料で配布すること。
- ②感染が拡大しないために距離を取りつつ安心して学校生活ができるよう感染対策に必要な人的・物的支援を緊急に行うこと。
- ③学校、保育施設等が休業になった時、働く保護者に対しての休業保障の制度を周知すること。
- ④入試やテストについては、感染によって不利益にならないような体制を確保すること。